



認証番号 17.

えびの電子工業株式会社

■所在地／えびの市大字上江670 ■業 種／製造業 ■代表取締役社長／津曲 洋一
■代表者／代表取締役専務 津曲 慎哉



助け合いの文化を活かし、地域に根ざす100年企業へ

農業が盛んなえびの市は、稲刈りなどの農繁期になると互いに助け合いながら働く文化が根づいている。その文化を活かし、子育てや介護などの時は互いに助け合い・支え合う社風・制度を整え、誰もが働きやすい職場づくりを進めている。



Q 取り組むきっかけは？

社名の「電子工業」というイメージとは異なり、従業員の3分の2は女性です。男性も地元出身者だけでなく、Uターン・Iターン・Jターン者など様々で、ほとんどの人が家庭を第一にしながら仕事に向かっています。えびの市は農業が盛んで、助け合い・支え合いの文化が根づいています。そんな土地柄もあり、創業時から一貫して互いに助け合い、休みを取りやすくする工夫を続けています。

Q 取組の成果は？

昨年度の有給休暇取得率は79.4%と高水準で推移しています。過去3年間の育休取得率は、対象者のうち女性100%、男性37.5%。男性では5か月間の育休取得者もいます。離職率は少しずつ低下し、生産性は向上しています。以前と比べて働きやすい職場づくりの成果として、今期も黒字経営を継続できる見込みです。

Q 取組の内容は？

従業員それぞれが複数の異なる作業や工程がこなせるように人材育成をする「多能工化」を推進し、柔軟に業務に対応できる体制を構築しました。そうすることで育児休業や家庭の事情などによる急な休みがあっても、部署間や近隣工場と相互に従業員を融通するなど、誰もが気兼ねなく休める環境を整えています。また、過去には子育て世代が多い時に社内保育所を作り、仕事をしながら子育てができる体制もとっていました。今では、働く時間を選べるだけでなく、子育て中はパート、子育てから手が離れたら社員、親の介護のためまたパートに…と、ライフステージに合わせて柔軟に雇用形態を変更できる制度など、会社をあげて働きやすい環境整備に取り組んでいます。

Q 今後の取組について

職場環境を整え、周りから評価されることが、働きやすい環境を維持し、さらに良い環境にしていく弾みになると考えています。当社では「成長チェック」という人事評価制度があります。これを再度見直し、より良い人材育成・評価ができるように取り組んでいきます。また災害発生時の対応力の強化(BCP)や労災事故ゼロへの安全衛生の活動にも力を入れ、さらに良い職場を創造していきたいと考えています。近年では、地元学校への講演や職場体験などを通して子どもの職業観を育む活動、部活動や市立図書館への支援等、地域の子供達へのサポートも行っています。会社の存続には、次世代を担う子ども達を大切に育てていく必要があります。そうした観点から今後は地域支援にもっと力を入れていきたいと思ひます。



【従業員の声】

介護に理解のある会社です。父の通院の送迎に合わせ、3年もの間、勤務シフトを調整してもらえたので助かりました。(60代女性)

1人目の子どもが2歳の時に、この会社で働いている母の紹介で入社。それから育休を3回取得しました。働く側のことを考えてくれるので、仕事と育児の両立で困った事はありません。(20代女性)

【代表者の声】

代表取締役専務 津曲 慎哉

地域の発展は未来を担う子ども達にかかっています。社会へ巣立っても、いずれは故郷を思い帰ってきてくれる子どもに育って欲しいと思い、さまざまな支援を行っています。「地域で豊かさを創造し発展し続ける100年企業」を目指し、これからもより良い職場づくりに努力してまいります。

